



令和3年4月30日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 「グローバルサイエンスキャンパス」 令和3年度採択機関の決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」における令和3年度採択機関を決定しました（別紙1）。

グローバルサイエンスキャンパスは、将来グローバルに活躍し得る傑出した科学技術人材を育成することを目的とした事業です。具体的には、地域で卓越した意欲・能力を持つ高校生などを募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを開発・実施する機関の企画を支援します。実施に当たっては、都道府県教育委員会または政令指定都市教育委員会などと連携し、地域の才能育成拠点としてコンソーシアム（推進協議会）を組織し、地域ぐるみで生徒の才能育成に取り組みます。

支援期間は最大4年間、支援金額（上限）は1年当たり3,000万円です。

本年度の公募は、令和3年1月19日（火）から3月2日（火）の期間に行い、3件の応募がありました。その後、外部有識者で構成される委員会（別紙2）にて審査し、その結果をもとに2件の機関を決定しました。これにより、令和3年度の実施機関は14機関（GSC「情報科学の達人」育成官民協働プログラムを含む）となります。

なお、事業の詳細については下記のホームページを参照してください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/>

### ＜添付資料＞

別紙1：「グローバルサイエンスキャンパス」令和3年度採択機関・企画一覧

別紙2：「グローバルサイエンスキャンパス」推進委員会 委員一覧

参 考：「グローバルサイエンスキャンパス」令和3年度募集の概要

### ＜お問い合わせ先＞

科学技術振興機構 理数学習推進部 能力伸長グループ

〒332-0012 埼玉県川口市本町4丁目1-8 川口センタービル

小泉 輝武（コイズミ テルタケ）

Tel：048-226-5669 Fax：048-226-5684

E-mail：[gsc\[at\]jst.go.jp](mailto:gsc[at]jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

## 「グローバルサイエンスキャンパス」

## 令和3年度採択機関・企画一覧

機関名	企画概要
企画名	
<p data-bbox="231 477 395 515">名古屋大学</p> <hr/> <p data-bbox="164 835 459 936">名大 MIRAI G SC：未来の博士人 材育成プログラム</p>	<p data-bbox="486 472 1410 645">近年、博士号取得者が減少し、わが国の科学技術の将来が大変危惧されている。ここでは深い専門性に加えて、俯瞰力と問題解決能力をもって、広く国際社会で活躍できる博士人材の育成が重要で、高校－大学－大学院－社会と続く人材育成プロセスにおいても、これに向けた取り組みが必要である。</p> <p data-bbox="486 645 1410 1160">本企画は、第1期において確立した、「講義」「先端研究」「英語での研究発表」からなる3ステージにおいて段階的に選抜・評価を行うシステムを基盤としながら、未来の日本を背負う博士人材育成につながる内容を充実させた。すなわち、リベラルアーツ教育によって科学の使命や位置付けへの理解を深める一方、新たにアントレプレナーシップ教育を導入して起業家精神を育成する。また、メインである第2ステージの先端研究室では、本学の大学1年生対象の実験を体験した後に専門研究室に配属することにより、背伸びすることなく先端研究に参加できるように配慮するほか、第3ステージでは米国ノースカロライナに拠点を置く本学NU Techを活用し、現地の大学や企業訪問とともに、米国のトップ高校生と交流・切磋琢磨する機会を与える。併せて、ポストコロナに資するEd Tech（エデュケーションテクノロジー）を活用した効果的な指導方法を整備する。</p>
<p data-bbox="244 1249 383 1288">神戸大学</p> <hr/> <p data-bbox="164 1507 459 1608">“越える”力を育む 国際的科学技术人材 育成プログラム</p>	<p data-bbox="486 1279 1410 1697">理工系部門を擁する地域の中核大学と国際的研究機関などが連携し、探求的活動への強い意欲と高い資質を備えた高校生などを発掘し、将来国際的に活躍する科学者・技術者を目指してその能力を飛躍的に高める。特に、研究活動で出合う障害や困難を“越える”力を育むことを重視する。基礎ステージでは、科学の諸領域の先端研究に触れつつその基礎にある考え方を学ぶことで、自らが課題を発見し、科学の知の体系の中での位置付けを意識しながら研究のデザインに取り組むとともに、国際コミュニケーション力を高める。実践ステージでは、基礎ステージ生の中から選抜された受講生が、大学の研究室などで指導・助言を受けながら研究を行い、学会や学術誌などの場での成果発表を目指す。</p>

「グローバルサイエンスキャンパス」推進委員会  
委員一覧

役割	氏名	所属
委員長	大路 樹生	名古屋大学 博物館 教授
副委員長	隅田 学	愛媛大学 教育学部 教授
委員	伊藤 哲史	京都大学 大学院理学研究科 准教授
委員	瓜谷 輝之	株式会社日本HP 経営企画本部 政府・公共渉外統括部長
委員	大倉 典子	芝浦工業大学 S I T総合研究所 特任教授
委員	西嶋 美保子	アドビ株式会社 法務・政策渉外本部 政策渉外担当シニアマネージャー
委員	西本 昌司	愛知大学 法学部 教授
委員	野村 和弘	河原学園 未来高等学校 校長
委員	福田 公子	東京都立大学 理学研究科 准教授

(委員は五十音順)

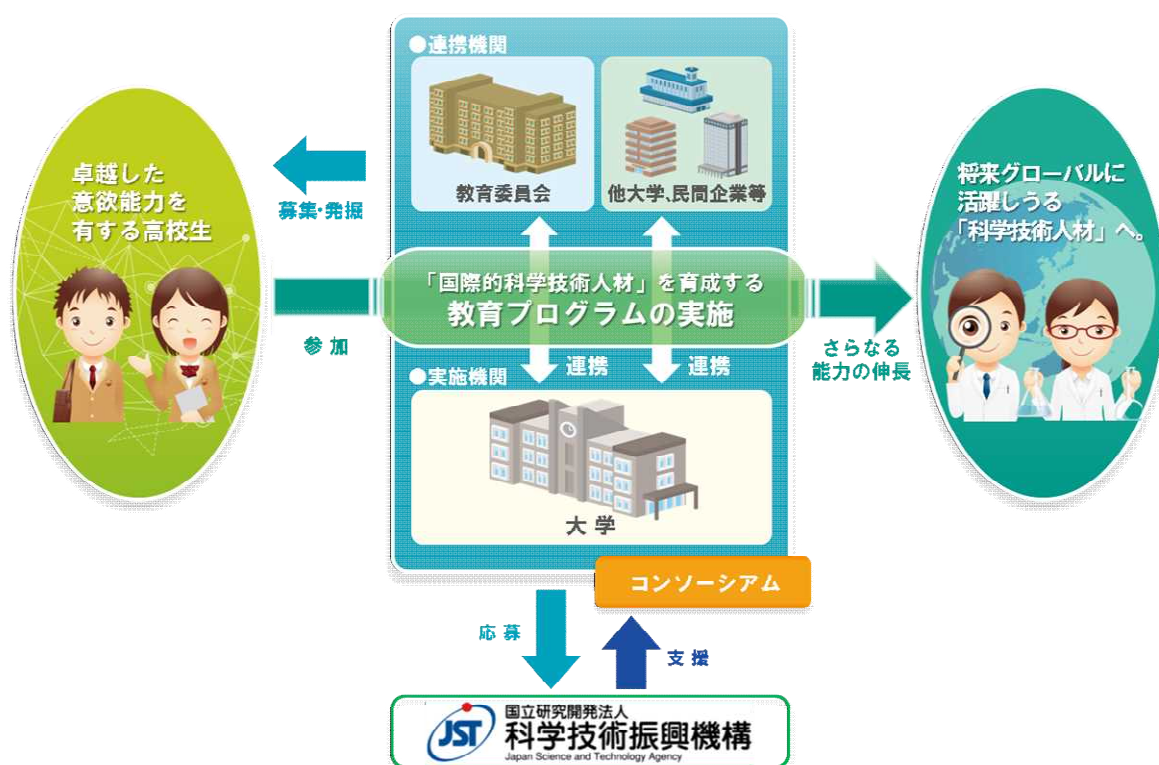
(所属、役職は令和3年4月14日時点)

※所属機関から応募があった委員は、当該応募の審査・選定には一切関与していない。

## 「グローバルサイエンスキャンパス」 令和3年度募集の概要

### 1. 趣旨

「グローバルサイエンスキャンパス」（以下、「本事業」という。）は、将来グローバルに活躍し得る次世代の傑出した科学技術人材を育成するため、地域で卓越した意欲・能力を持つ生徒の幅広い発掘と選抜者の年間を通じた高度で実践的な育成を行い、将来有為な国際的科学技術人材として必要な能力を獲得させ、その意欲・能力をさらに伸ばしていくことを主眼としています。これに加え、本事業の中で開発された人材育成手法について、継続的な成果の把握、改善を通して実効性向上を図るとともに、広く普及させることで社会全体への効果の還元も目的としています。



### 2. 概要

将来グローバルに活躍し得る高度な科学的探究能力を持つ生徒を育成するため、地域で卓越した意欲・能力を持つ高校生などを募集・選抜し、選抜を通過した生徒（以下、「受講生」という。）に対して高度で体系的な理数教育プログラムの開発・実施などを行います。実施に当たっては、大学を中心としたコンソーシアム（推進協議会）を組織し、地域を挙げて効率的・効果的に受講生の発掘・選抜などを行うこととします。

### 3. 実施機関（応募できる機関）

全国の国公私立大学（短期大学を除く）、大学共同利用機関および国立研究開発法人

### 4. 支援対象期間

令和7年3月31日までの最大4年度間

5. 採択数・実施規模（1機関当たりの支援上限額と新規受講生数）  
採択数2件程度（3,000万円／年度、50名程度／年度）

6. 募集期間

令和3年1月19日（火）～令和3年3月2日（火）

7. 詳細について

募集の詳細については、下記のホームページを参照してください。

URL : <https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/>

以上